

公表

児童発達支援

保護者様からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」武蔵新城校	公表日	2025年2月15日
------	---------------------	-----	------------

ご兄弟除く
利用児童数 11 回収数 11 回収率 100%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	3	0	0	教室の構造上、広さは限られてしまっていますが、安全に細心の注意を払って支援をおこなっております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	1	(「わからない」の回答) 基準が不明です。 当教室ご利用の方の対象の基準と定まっている「重症心身障害者以外」の方への設計・設備となっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	0	0	0	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	0	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	1	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1	0	0	いつも子供と親の話をよく聞いてくださり、うまくまとめて計画を立ててくださいます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	1	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0	計画を叶えられるよう、様々なあそびを考えてくださいます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	3	0	1	「固定化する」か否かをお子様の症状や特性を尊重して考え、より良い内容で支援をおこなっております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	5	4	保護者様のご希望を鑑みまして、実施を検討させていただきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	2	5	こちらが抱えている不安や悩みをよく聞いてくださり、適切なアドバイスをして頂けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1	0	0	いつも保護者の話をよく聞いて下さり、また相談にのって頂きありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	0	0	1	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	5	5	実施の方は、保護者様のご希望を鑑みまして検討させていただきます。ご兄弟様の支援につきましては、ご都合が合わされる範囲で実施を検討させていただきます。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	0		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	0	3		きらり通信の掲示やHPでの掲載は頻回の更新ができなかったため、各ツールを定期的にご覧頂けるよう態勢を整えて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	5		各種マニュアルを知って頂き、ご覧いただける形をとれるように検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	5		職員を中心に定期的に訓練を実施しておりますので、利用者さま方にも発信して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0	担当して下さっている先生に対し、特に安心感をもって通所できているようです。	お子様が少しでも不安や心配を抱えずに安心してお過ごし頂けますよう、意識して支援に努めて参ります。ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	いつもとても楽しみにしています。先生方の皆さんがとても好きな様子です。／一度も渋ることなく楽しく通っております。	ありがとうございます。お子様が弊所に楽しい気持ちでお越し頂けますよう、今後も職員一同で努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	きらりに通い始めて2年ほどたちますが、おかげさまで大きく成長したと感じています。(子供も親も)親子とも安心して楽しく通所しております。今後もよろしくお願いたします。	ありがとうございます。お子様・親御さまにもご満足して頂ける療育支援を目指して、今後も一層精進致します。

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」武蔵新城校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		各支援スペースをパーティションで区分しており、室内の構造に合わせて安全に立てておける配置をしています。	児童の特性と支援内容に合わせて個別療育ができる環境設定をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		各職員が、児童に適切に関わるようにしています。	法定配置数は遵守できているが、業務上は充分とは言えない数かと思われます。会社(クラ・ゼミ)とも都度相談をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		個室ではなく、セミオープンな空間において、可能な限り本人の特性に配慮をおこなっています。	バリアフリー化は施設の構造上難しい。／修繕の可能な範囲で、安全・安心して支援に取り組める環境であるよう、教室全体で取り組みます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い、心地良い活動環境を心がけています。	今後も支援を心地よく受け入れて頂けるよう、教室全体で取り組みます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援専用の部屋は無いですが、他の利用者者と隔てる必要がある利用者様に対して、ドアのある相談室を支援で提供することはございます。	声が通りやすい空間なので、利用者様の声量の調整ができるように促すなど、全利用者様の支援の保障ができるよう、意識して努めて参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日、職員全員でミーティングを実施しています。	業務改善のため、全員PDCAサイクルに参画できるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の結果をもとに会議を開き、保護者様の意向を把握しています。	今後も保護者様の意向を踏まえて、業務改善に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その日ごとに職員全員での打ち合わせの時間を設け、広く意見を伝える・知ることをおこなっております。	ご利用者様の各情報を確実に把握するため、全職員で共有ができるように工夫・意識して務めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	神奈川県による第三者評価項目を基に、事業所内で定期的に独自の評価活動を実施しています。	定期的な外部評価は実施されておりませんが、利用者様の声を尊重しまして業務に反映しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部巡回講師の研修を受けています。また、発達支援研究所主催の定例研修も受けております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画をもとに、利用者様ごとに症状や主訴に合わせたプログラムを作成しています。	厚生労働省による改定により、来年度より始まる「支援プログラムの公表」に合わせて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援時の様子や、各発達検査の結果などをふまえ、アセスメントをしています。	今後も、利用者様の課題を客観的に分析した支援計画を作成していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者のみに限らず、教室で利用者様に関わりを持っている全職員からの視点を基に作成しております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		お子さまの特色・性格・主訴に合わせて個々に計画を作成し、スタッフ会議にて全職員で共有しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達段階に応じて、放デイの方に児発の内容で実施することもあります。	(法人が定めたアセスメントシートを使っています。)	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それまでの支援の様子や保護者様との振り返りをもとに、本人支援を核として、家族・移行支援の内容を具体的に設定しています。	個別を中心にした支援計画のため「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」が主となりますが、可能な範囲で「地域支援」にも触れていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		サービス担当者会議の際に、各指導員から意見を出し合っています。	各意見を集約して、活動プログラムを立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援のねらいに対し、中心と周辺領域に広がりを持つ支援となるよう配慮しています。	今後もその時の発達段階に応じた活動となるよう、配慮と工夫をしていきます。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○		集団療育は、利用者様ごとの支援目標や年齢の違いなどが関わるため全員を対象とするのは難しく、個別療育が主点になりますが、小集団・集団の支援も実施できることを今後も検討していきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、午前時間帯で、職員全員でのミーティングをおこなっています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日もしくは当日の支援のない時間帯にミーティングで情報共有をしています。早めに共有が必要な事項は、迅速に打ち合わせを実施しております。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		情報共有すべきことを記録し、今後の支援に生かせるように共有しています。	日々の業務において支援の質の向上・さらなる改善ができるよう努めて参ります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長でも6か月以内に実施し、現状に即した計画づくりをしています。	今後も定期的に、個々の状況に即したモニタリングを実施していきます。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		本年は該当がありませんでしたが、児発管、もしくはご利用のお子様の支援を主で担当させて頂いている指導員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		提携医療機関や市内の各療育センターなど、必要に応じて連携をとれる体制を整えています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		インクルージョン推進の観点にも着目し、利用者様のご希望に合わせて情報共有と相互理解を図っていきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		定期的には学校との直接的な情報共有はおこなっておりませんが、親御様を通じて相互理解をはかっています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		主に中央療育センターと、必要に応じてご利用児童についてのご様子やモニタリングの内容を共有しております。発達支援研究所主催の児童の作品募集にも、希望によって参加しております。	発達支援研究所と連携を取り、適宜、助言を受けられる体制となっています。より定期的に情報交換などできるよう努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○			内容として個別を中心とした1時間以内の実地支援のため、実施には至りませんでした。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者様とお話の中で、今後の支援に必要な内容を考慮しております。	毎回支援後の振り返りをして、保護者様との共通理解の場を設けています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			支援後の振り返りやご要望により、個別相談で保護者支援をしています。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に、特にご理解を頂きたい内容についてを、より丁寧に説明するように心がけております。	ご不明な点については、理解して頂けるように、その都度丁寧な説明を心がけています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			体験支援の内容と、利用開始の時期にご提出いただく情報シートを基に、利用者様側の意思を尊重して作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			更新時までのお子様のご様子を鑑みて原案を作成し、親御様のご希望の有無を確認しながら、同意を頂ける内容を作成しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			支援の振り返りや実施の際、必要に応じた内容でおこなっています。また、支援時間外のお時間にご相談(家族支援)の機会を設けております。	保護者様の要望に極力応えることができるよう、今後も努めていきます。

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れについては迅速に対応する体制を取っており、苦情受付窓口も設置しています。	今後もお子様や保護者様からの相談や申し入れについては、迅速かつ適切な対応をしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやメール・LINEを通して、その都度活動のご案内をおこなっております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時の「個人情報に関する同意書」に基づいて、個人情報の取り扱いに十分に注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		電話やメール・LINEにて連絡を入れるなど、必要に即した個別対応をしています。	今後もお子様や保護者様の要望に合わせて、個別対応をしていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待する行事は実施しておりませんが、地域の自治会に加盟し、情報共有をさせて頂いております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月1回、職員にて訓練もしくは研修を実施しています。	職員は各マニュアルの内容を充分把握したうえで事業所の運営に当たります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月1回、職員にて訓練、もしくは教室にて各災害・防災をシミュレーションしての研修を実施しています。	利用者様の訓練への参加につきましては、状況やお子様の症状を考慮したうえで検討しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		ご入室の際の検温時に体調や最近の様子をお聞きしております。	利用者様ごとに情報シートにて管理しています。必要に応じて服薬などの状況を確認して支援にあたります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はおこなっておりません。アレルギーの有無に関しては、活動に関わる内容を共有させて頂いております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全を確保した支援を提供するとともに、安全計画の方も周知できるよう検討致します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録ごとをまとめて事例集として、職員で共有して危機管理に努めています。	ヒヤリハットの記録を欠かさずおこなって、危機管理に生かしています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回以上、職員で虐待防止・人権擁護の研修を受けています。	意識を深めるうえで、今後も職員の研修の機会を確保していきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に身体時拘束の必要についてご説明し、身体拘束の必要がある場合は、必ず個別支援計画に記載します。	人権の観点からも、身体拘束については慎重に、必要時に限るなどの認識を持って支援致します。	

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」武蔵新城校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当教室が2025年で開校10年目を迎えられること(利用者様、地域の方々の支えがあってこそ の到達であると考えている)。	日頃からご家族の方、親御様とのお子様に関してのご様子やコンディションを都度共有させて頂き、安定した生活に必要な力添えを考え、親御様の協力を仰ぎながら実践している。	当教室をより良く信頼して頂き、15年、20年と続けて療育を展開していくことができるよう親御様との情報共有を続け、お子様に楽しく通って頂けるために全職員で精進して努めていく。
2	スタッフ全体で利用者様1人1人において、オーダーメイドの支援内容を考えて取り組んでいること。	利用者様との情報交換をこまめにおこなったり、支援に必要な道具・玩具や教材の調整・準備、支援の導入時や支援終了後のスタッフの対応や注意事項について共有し、都度確認している。	今おこなっていることを今後も継続すること。また、指導員への過度な負担が増えてしまうことを少しでも軽減して、気持ちに余裕を持てる状態で支援への取り組み・対応ができるように考えていくこと。
3	児童の福祉事業所の指導員として8年以上の経験を持ち、当教室での配属年数が8年以上となる指導員が複数在籍している。	児童福祉に携った長い期間の専門的視点・経験をもとに、療育が必要な幼児の皆様に対して、より詳しい知識や対処・対応の仕方ですべて実施させて頂いている。	専門的経験や知識を他の指導員へ伝え、共有し、よりよく層の厚い充実度の高い支援を提供することができるよう、全職員で精進していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な発達段階や特性の小学1年生～高校3年生の利用者を受け入れることで、幼児の代から小学生～高校生の代の合わせて15年代以上の幅広い療育への対応や支援準備を行うこと。	1歳半～高校3年生の療育を必要とされている方々を、「児童発達支援」「放課後等デイサービス」の両方の多機能型事業所として受け入れるというクラ・ゼミ(本社)の方針のもと、責務を果たせるよう努めている。	事業所により「支援が可能な内容をお子様や親御様と相談をしながら決めていき、時に試行錯誤もしながら、より良い支援となるよう実行していく」ということをご利用の皆様にもご理解頂けることが必要になると考える。
2	平日は遅い時間帯に児童発達支援の実施が集中しており、平日午前中・昼すぎの時間帯が空き枠が多い状態になっていること。	○ お子様のいらっしゃるご家庭のライフスタイルの変化により、午後以降のご利用の方がご都合が良いご家庭が多くなっていることが考えられる。 ○ 教室のHP等から空き案内をおこなっているが、周知が広がっていないことが考えられる。	教室からの空き枠の発信や福祉機関への周知をさかんにし、当該時間のご利用につなげる。/児発と放デイの方が同じ時間帯に支援を行う場合、児発では発語支援や動きの伴う内容になる事が多いことに、放デイの利用者様へのご理解とご協力が求められる。
3	ご利用の方が通っている保育園や幼稚園との直接の連携が定期的には行っていないこと。	世の中の、お子様への発達療育への関心・意識の高まりにより利用者の数が年々増加の傾向にあり、支援数の増加による保育園や幼稚園への訪問の時間の捻出が難しくなっていること。	職員・指導員の配置人数が不足している点が挙げられるので、会社(クラ・ゼミ)とも常に相談し、職員数の増加をすることで支援以外の保育園や幼稚園、福祉関係機関との連携を増加へとつなげたい。